

# さくらっ子

三春町立中郷小学校 学校だより 第16号

発行日 令和 3年 3月22日

発行者 今井不二子

学校目標：心豊かで自立的精神に満ち、限りのない創造を求めて「輝く子ども」を育成する

「輝く子ども」 ○輝くこころ ○輝くひとみ ○輝くからだ

2022年の令和2年度が修了します。今年度は、新型コロナウイルス感染症により、計画していた学習や行事が中止・変更になりましたが、新しい生活様式を身に付けた子どもたちと創意工夫にあふれた先生方、そして、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、無事に修了できることに感謝の気持ちでいっぱいです。1年間お世話になりました。

また、今年度の卒業式は、「卒業を 全校生で祝う 中郷の思い出」をテーマとして、在校生全員参加の会場作成をはじめ、6年生を送る会や卒業式の練習でも、感謝の気持ちを態度や行動で示してくれました。主役となる6年生も、卒業式に向けて、日々頼もしく成長が感じられます。卒業式でも、合唱ができませんが、6年生一人一人が思いを伝える場面もあります。卒業生も悔いがのこらないで巣立っていくことと期待しています。

## 【家庭学習ノート 年間最高冊数は13冊!!】

1学期は30名が58冊、2学期は39名が77冊の「家庭学習ノート」を提出しました。このように、今年1年間、多くの児童が家庭学習に取り組めたことをうれしく思います。この「家庭学習ノート」は、担任から出される宿題以外に、各自がこつこつ自分で学習を進めてきた素晴らしい足跡です。児童にがんばれた理由を聞いてみると、「担任の先生」と「お家の人」からの励ましがあったからと答えてくれます。今年一年間で、「やらされる学習」から「自分で進んで取り組む学習」についての意識が高まりました。ご協力、ありがとうございました。

### 【家庭学習ノート 年間ベスト6】 ※名のみ・敬称略(学年)

13冊 由 伸 (6)

9冊 日向子 (6)

7冊 文 星 (3) 愛 瑠 (1)

6冊 佑 斗 (3) 浩 輝 (3)

#### 【1学期 30名】

6冊 文 星 (3) 佑 斗 (3)  
 4冊 由 伸 (6) 菜 乃 (5)  
 3冊 日向子 (6)  
 紗耶香 (5)  
 愛 瑠 (1)  
 2冊 春 輝 (6) 奏 美 (6)  
 明 步 (6) 知 郁 (4)  
 聖 鳳 (3) 葵 依 (1)  
 凜 那 (1) 悠 (1)  
 蓮 聖 (1)  
 1冊 愛 礼 (5) 結 羽 (5)  
 侑 芽 (5) 舞 衣 (4)  
 浩 輝 (3) 光 喜 (3)  
 悠 翔 (3)  
 菜 子 (3)  
 晴 喜 (3)  
 隼 佑 (3)  
 大 地 (3)  
 翔 太 (3)  
 花 花 (2)  
 颯 太 (2)



#### 【2学期 39名】

9冊 由 伸 (6)  
 6冊 日向子 (6)  
 5冊 浩 輝 (3)  
 4冊 愛 瑠 (1)  
 3冊 恭 平 (4) 隼 佑 (3)  
 颯 太 (2) 聖 鳳 (4)  
 2冊 明 步 (6) 侑 芽 (5)  
 紗耶香 (5) 菜 乃 (5)  
 知 郁 (4) 佑 斗 (3)  
 光 喜 (3) 翔 太 (3)  
 悠 (1) 美 紗 (1)  
 1冊 美 古 都 (6) 奏 美 (6)  
 結 羽 (5) 愛 礼 (5)  
 煌 希 (4) 萌 果 (4)  
 晴 也 (4) 煌 珂 (4)  
 徳 人 (4) 舞 衣 (4)  
 文 星 (3) 大 地 (4)  
 晴 喜 (3) 季 菜 子 (3)  
 悠 翔 (3) 一 花 (2)  
 美 桜 (1) 凜 那 (1)  
 葵 依 (1) 莉 瑚 (1)  
 蓮 聖 (1)

### 【分散による授業参観】

今年度は、密を避けるために3日間に分けた授業参観としました。「子どもの学習する姿がみたい」というご要望を受けての実施となりましたが、いかがでしたか。分散のために、すべて同じ授業を行うことは難しいのですが、保護者の皆様に来ていただき児童もいつも以上にどのような場面でも張り切っていたようです。お子さんの成長した姿をご覧いただけたと思います。



### 【3. 11 東日本大震災追悼式】



東日本大震災から10年目となる今年、学校では、集会を開いて震災についてのお話をしました。当日は、授業参観日でしたので、参観に来ていた保護者の皆様にも追悼式に参加していただきました。集会では、震災直後、幼かったり、生まれていなかったりした子どもたちに東日本大震災のことを話し、全員で黙祷を捧げました。また、東日本大震災について、考えたことや聞いたこと、調べたことを書いてくる「全校宿題」を出しました。親子で話題にして安全や防災について考えるきっかけとなったことが、宿題の内容や子どもたちの言葉からあふれてきますので、紹介します。

○ 私は東日本大震災のことをあまり知りません。生まれて5日後だったので、覚えていません。母から聞いた話だと、私は10日に病院を退院して、母の実家にいたときだそうです。ですが、校長先生のお話を聞いて、「そんなに大変だったのか」と思いました。相当被害を受けた地域もあったそうで、私は、黙祷の時に、お亡くなりになってしまった方の方まで生きようと感じました。その後は、ひたすら、東日本大震災のような大きな地震が、もう二度と起きないように願いました。(以下省略)【4年児童】

○ (略) ぼくは、たまにお母さんやおとうさんから話を聞いていました。東日本大震災は(地震が)3分くらい続いたようで、原発事故もあってとても復興するのに時間がかかったんだなと思いました。テレビで見たときは写真に収めている人がいたり、今でも忘れられない人たちがいるんだなと思いました。亡くなった人や避難している人、いまだに見つかっていない人がいるというので、その人たちの分まで自分ができることをしていきたいなと思いました。(略) 震災があっても避難所を建てたり、復興などでがんばっている人たちがいて、日本はとても生きがいのある場所だととても素晴らしいところだとあらためて感じました。進んで復興に向けてがんばっている人や募金をしている人など、自分もこれならできるのではないかと感じました。これからは、何かあったら自分がいろいろな人を助けたいなと思いました。【6年児童】

### 【役員の皆様、大変お世話になりました】

今年度を締めくくるとPTA総会と学級懇談会となりました。臨時休業や行事の変更などもあり、PTA役員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。また、今年度、一同を会した会議を開催して、皆様にお伝えしたいことや伺いたいことなどをお伝えできましたことに、胸をなで下ろしたところです。PTA総会でご説明しましたとおり、これから徐々に始まっていく複式学級については今後ともご協力とご理解をいただきたくよろしくお願いたします。



令和2年度も大変お世話になりました。  
ありがとうございました。

全校児童への宿題にしましたが、保護者様からも当時の様子についてコメントをいただきましたのでご紹介します。

○ 職業は、重機のオペレーターです。東日本大震災後、すぐ、地元三春や郡山で災害に遭った家屋の解体作業をしていました。震災後約二年、浪江町請戸で津波の片付けをする依頼が来ました。津波の片付けに2年間通い思ったことがあります。メディアなどがいう「ガレキ」という言葉は、被災者たちの跡形がなくても一つ一つが思い出の物ではないのかと思いました。そして、当時は三春から浪江まで行くのもとても大変で、バリエードごとに許可証と身分証明書を見せないといけませんでした。

※ 貴重な体験を教えてください、ありがとうございました。

### 学校運営協議会で今年度の取組について評価

今年度3回目の学校運営協議会では、校長と担当教職員から今年度の取組と成果、課題についてご説明しました。また、評価をいただくために、保護者の皆様のアンケート結果についてもご意見を頂戴しました。学校が楽しいという児童がふえたことについて良い評価をいただいた一方、「児童が学習や生活について相談しやすい」点をご指摘いただきましたので、次年度は本校の課題とし、改善できるように教職員とより共通理解を図り協力し合って参ります。

